

## 伝統医学 TAG 進捗状況報告書

平成 24 年 11 月 1 日

文責 渡辺賢治

概要

伝統医学 TAG では日中韓を中心とした東アジア伝統医学の分類 (ICTM) を作成し、粒度の大きいハイレベルの分類を ICD-11 に入れることを目標に作業を進めている。ICTM は disorder と pattern (証) から成る。現在 ICD-11 β 23 章として公開されている。

1. 対面会議1) 2012 年 3 月 28-30 日 **伝統医学分類 (ICTM) の用語に関する会議 上海**

用語に関しての会議を行った。日中韓それぞれの表音文字 (ピンイン、ローマ字など) を使わないことが確認されたが、陰 (yin)、陽 (yang)、気 (qi) に関しては世界で幅広く用いられており、例外とすることが決まった。

2) 2012 年 5 月 3 日-5 日 **ICTM 全体会議 香港**

ICD-1123 章を中心に、disorder について構造およびタイトルほぼ合意された (15 セクション 207 タイトル)。

3) 2012 年 9 月 13-14 日 **証に関するアドホック会議 東京**

証に関しての会議を行い、構造およびタイトルがほぼ合意された (10 セクション 239 タイトル)。

2. 電話会議

ICTM のプロジェクト・アドバイザー・グループ (11 名および WHO スタッフ) ならびにマネージング・エディターの電話会議を定期的に行い、進捗状況の確認をしている。

3. 伝統医学分類および iCAT 入力情報

タイトルおよび定義はすべて入力が終了し、iCAT 上で表示されている。

4. WHO-FIC との連携

- 1) 今までは作業を日本東洋医学会 用語および病名分類委員会にて行ってきたが、WHO 協力センターの一員として作業を行うこととなった。
- 2) WHO-FIC 改訂委員会 (RSG) の電話会議には伝統医学 TAG の共同議長としてザン・シャオリ (中国) と渡辺が参加している。
- 3) 10 月の WHO-FIC ネットワーク会議にて ICTM チームで発表し、優秀ポスター賞を受賞した。

5. 今後の予定

- 1) レビュープロセス 日中韓を含む世界からのレビュワーにより 23 章のレビューが開始される。日本から 13 名のレビュワーを推薦した。
- 2) フィールドテストについてはこれから計画し、実行していく。